

議事(2) 情報保障の推進について (第2回)

【論点】「情報保障の推進」・「言語としての手話の位置づけ」について

ゲストスピーカーの発言も踏まえつつ、前回問題提起のあった、「様々な手段を規定することの要否」や「障害のある人のための情報保障ではなく、全ての人のための情報保障であること」、等について、改めて御意見を頂きたい。

論点

- 事業者による情報保障の取組について
 - ・ 情報保障について、事業者に期待される役割・責務を規定すべきか。
- 情報保障の手段について
 - ・ 情報保障のための多様な方法はあくまで例示にとどめ、「障害特性に
て、障害のある人がわかるように説明することが重要」であることを規定
すべきか。
- 情報保障の必要性について
 - ・ 情報保障は、障害のある人のためだけではなく、障害のある人とコミュ
ニケーションを図る都民や事業者にとっても必要であることを規定すべ
きか。
- 言語としての手話について
 - ・ 手話は独自の文法を持ち、ろう者の文化・言語であることを踏まえ、手話の
認識を広め、都民及び事業者において手話の利用が進むよう、取組を進め
るべきことを都の役割とすべきか。